株式会社ガイア
42期CSR報告書

（2025年6月～2026年5月）

CSR方針

■CSR方針

当社は、経営方針に掲げる「正しさの追求で社会的責任を十分に果たす」ことを目指し、日々の事業活動に取り組んでおります。
全社員一人ひとりが経営者意識と高い倫理観を持ち、目の前の課題に真摯に向き合うことで、自らの存在意義を高め、将来に亘り継続的に社会的責任を果たす『サステナブル企業』としての役割を全うします。
とりわけ私たちは、地域住民の一員として地域の皆様一人ひとりのお声に耳を傾け、率先して地域を支える企業であり続けたいと願っております。

また、ＣＳＲを通してステークホルダーの皆様とより良い関係を目指します。



■SDGsへの賛同

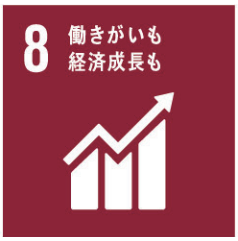
今後も、「地域社会に愛され必要とされるアミューズメント企業」を目指すべく、良き企業市民としての行動に努め、国連で採択されたSDGｓ（持続可能な開発目標）の達成に貢献できるよう、社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

当社では以下の４つの目標を重要取り込み項目としております。











3 すべての人に健康と福祉を

社会と共に

■日本赤十字社 活動支援

日本赤十字社

わたしたちは日本赤十字社の
活動を支援しています。

当社は、日本赤十字の使命である「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」に賛同し、2016年より日本赤十字社へ活動支援としての寄付を始めました。
活動支援金は、国内外の災害救護活動、社会福祉、血液事業、救急法の講習、赤十字病院の運営などに活用されています。
さらに、寄付にとどまらず、献血活動など多岐にわたる取り組みにも積極的に参加・協力してまいりました。

■献血サポーター

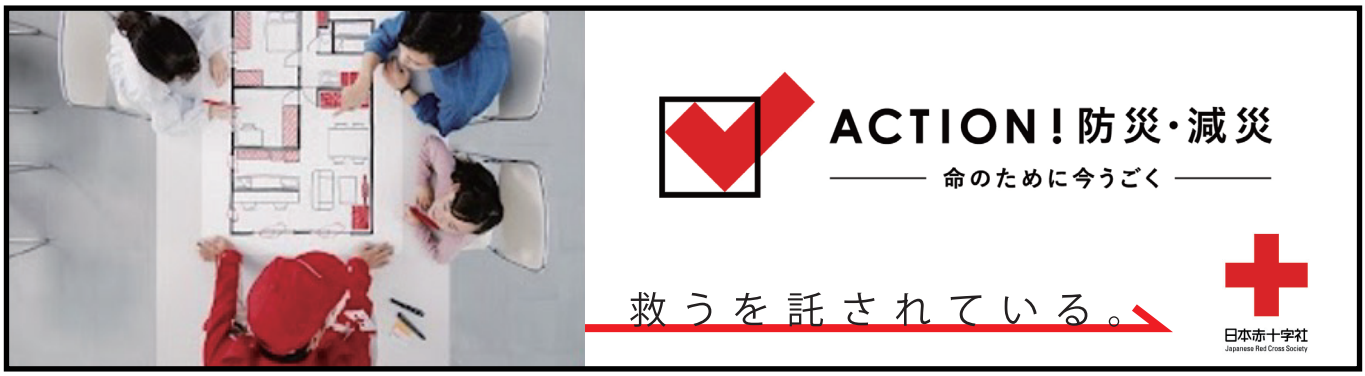
当社は、医療の現場に不可欠な血液を安定的に届けるため、日本赤十字社の「献血サポーター」として献血推進活動を支援しています。
いのちを救うこの重要な活動に企業として賛同し、当社におきましても献血活動への積極的な参加を通じて、広く社会に貢献してまいります。



献血サポーター

■ACTION！防災・減災プロジェクト

本プロジェクトは、未来に目を向けた「防災・減災への備え」を働きかけ、日本全体で防災意識を高めるムーブメントを起こす取り組みです。
当社は、日本赤十字社の活動支援のため、プロジェクトパートナーとして賛同・参加を行いました。
店舗・本社ともにポスターを掲示し、防災に対する意識付けを促しました。



3 すべての人に健康と福祉を

社会と共に

■AED設置／普通救命講習の受講促進

当社は、ご来店いただくお客様や地域の皆様に安心してお過ごしいただけるよう、全店舗にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。また、緊急時に適切な対処ができるよう、店舗従業員には救命講習の受講を推奨し、店舗責任者には受講を義務付けております。

こうした日々の備えが実を結び、本年5月には、店舗でご遊技中のお客様が倒れられた際、従業員が迅速に119番通報を行うとともに、AEDの音声ガイダンスに従って心臓マッサージを継続した結果、お客様は意識を回復され、無事に救急隊へ引き渡すことができました。

本社におきましても継続的な受講機会の確保に取り組んでおり、今後も全社を挙げて救命対応力の維持・向上に努めてまいります。







■車内放置未然防止活動

子どもの車内放置は児童虐待（ネグレクト）にあたる行為です。

当社は駐車場などで子どもを車内に放置するのを防ぐために巡回活動を強化しております。

第42期におきましては、従業員が駐車場清掃中に車内に残されたお子さまを発見し、直ちに店内放送で保護者を特定したうえで、毅然とした態度で指導・説得を行いました。

従業員全員が高い防犯意識を持ち、迅速に連携した結果として重大事故を未然に防ぐことができ、本件について全日本遊技事業協同組合連合会および埼玉県遊技業協同組合より感謝状を拝受いたしました。




表彰状

株式会社ガイア
メガガイア越谷大里店様

貴店は子どもの車内放置事故防止の重要性を充分認識し、令和八年四月二十日店舗駐車場内に於ける児童の車内放置事案に当り迅速かつ的確な対応で事故未然防止に多大な貢献をされました
その功績は他の模範と認められます
ここにその功労を称え表彰します

令和八年六月五日

埼玉県遊技業協同組合
理事長 趙 顕洙


感謝状

メガガイア越谷大里店 殿

貴店は子どもの車内放置事業に適切に対処され尊い生命を救われました
これは子どもの事故防止運動の意識高揚に大きく寄与するものであります
よって茲に功績を称え深甚なる感謝の意を表します

令和八年五月十三日

全日本遊技事業協同組合連合会
理事長 阿部 恭久

3 すべての人に健康と福祉を

社会と共に

■社会福祉法人 中央共同募金会　活動支援

当社は、２０１４年より４７都道府県共同募金会の連合会である「中央共同募金会」に対し、活動支援のための寄付を継続しています。
活動支援金は、障がい者の共同作業所の車両整備、社会福祉施設の改修、高齢者サロンの運営、点訳ボランティアなど、さまざまな民間の地域福祉活動に活用されています。

■赤い羽根共同募金

２０２３年10月1日から12月31日を募金運動強化期間とし、全国の店舗にて募金活動を実施しました。さらに、２０２０年1月からは全社員が利用できるＷｅｂ募金を開設しました。地域社会に貢献できるよう、今後も募金活動を行っていきます。

■お菓子の寄付

当社は全店舗に「お気持ち箱」を設置しています。お客様のご厚意で集められたお菓子は、店舗所在地の近隣にある福祉施設様へのお持ち込みや、東京都社会福祉協議会東京善意銀行様のご協力のもと、定期的に全国の福祉施設へお届けしています。
４２期は、１２７施設へ２６８箱のお菓子を寄贈しました。




■清掃活動

埼玉県内で営業している店舗を「地域清掃気軽に登録制度」に登録しました。
この活動は、地域の環境を美しく保ち、暮らしに快適さや豊かさを図るもので埼玉県が主導しています。







3 すべての人に健康と福祉を

社会と共に

■依存問題に対する姿勢

当社は、パチンコ・パチスロで余暇を楽しんでいただくアミューズメント企業として広く社会から受容されるためにも、のめり込みによる依存問題に関して、お客様の自己責任に帰することなく真摯に向き合っております。また、依存問題の解決に向けて活動を行っている団体への支援を、今後も積極的に行ってまいります。



■社内の取り組み

安心パチンコ・パチスロアドバイザーの育成、社員研修での教育、アルバイトスタッフへの周知・教育に力を入れています。また、企業HPやチラシなどへの啓発標語の掲載、お客様へ向けた啓発ポスターの掲示など、お客様や社会への情報発信に努め、依存問題の解決へ取り組む団体への活動支援も行っています。



■安心パチンコ・パチスロアドバイザー

アドバイザー制度は、お客様に対して依存問題への適切な案内ができる担当者を各店舗に配置するもので、行政などが求めるパチンコ・パチスロ依存問題への対応強化策の取り組みです。当社は、1店舗あたり3名以上のアドバイザーを配置しております。



■自己申告プログラム

「自己申告プログラム」とは、利用ご希望のお客様ご自身で、1日の遊技の使用金額を申告していただき、設定値に達した場合に、その旨をお知らせして、お金の使いすぎを防ぎ、安全・安心遊技をシステム的に担保する仕組みです。



■自己診断チェックツール

DSM-5の診断基準をパチンコ・パチスロ用に当てはめた「自己診断チェックツール」を店舗に設置しています。短時間で回答いただけるよう8つの設問で構成されており、診断の結果、ご不安な点がある方には専門の相談機関をご紹介しています。



■認定NPO法人　リカバリーサポート・ネットワーク　活動支援



「認定NPO法人ワンデーポート」は、日本初のギャンブルに関して問題を抱えている人のための回復支援施設です。ギャンブル依存の原因は、個々の生活や生き方の中にあると考え、医療機関に解決方法を求めるのではなく、「暮らし・仕事・余暇」の使い方を包括的な視点で見つめ直し、個別的な生活支援を行っている団体です。

■認定NPO法人　ワンデーポート　活動支援



「認定NPO法人ワンデーポート」は、日本初のギャンブルに関して問題を抱えている人のための回復支援施設です。ギャンブル依存の原因は、個々の生活や生き方の中にあると考え、医療機関に解決方法を求めるのではなく、「暮らし・仕事・余暇」の使い方を包括的な視点で見つめ直し、個別的な生活支援を行っている団体です。

8 働きがいも経済成長も

従業員と共に

ダイバーシティ推進の方針

社員のキャリア志向とワーク・ライフ・バランスを共に尊重できる就業環境を整え、企業の更なる発展を目指す

２０１３年にダイバーシティ推進プロジェクト（現：ダイバーシティ推進委員会）を設立し、
多様性を尊重しながら、一人ひとりが活躍できる組織作りを行っています。

■キャリア支援／ワーク・ライフ・バランス支援

e-ラーニング
全社員に無料の
e-ラーニングサービスを提供。

キャリアWLB面談
主に若手社員が対象。
上長もしくは、有資格者が実施。

人事考課面談
年2回の考課時期に、
今後のキャリア志向を
確認する面談を実施。

男性社員の育休取得促進
取得者の事例を
社内広報誌にて全社へ周知。
リーフレットの全店配布。

介護と仕事の両立支援
公的制度、
社内制度の紹介セミナーの実施。
リーフレットの全店配布。

年次有給休暇取得の促進
上位職が率先して
取得している様子を
社内広報誌にて紹介。

■女性活躍推進

妊娠期の選べる働き方
下記から働き方を選べます。
【1】通常勤務(母性健康管理措置の範囲内)
【2】事務専門勤務

育児期の選べる働き方
下記から働き方を選べます。
【1】通常勤務 【2】事務中心勤務
【3】本社管理部門への異動

妊娠育児期面談
上長および、
人事部の担当者による
メンタルケア面談の実施。

育児短時間勤務
中学校入学まで。
2時間/日まで短縮可能。
時差勤務制度との併用可能。

**妊娠育児期の
サポートリーフレット**
妊娠判明時には、
職場の理解を深めるため
該当者の上長にも配付。

**女性社員セミナー
女性管理職セミナー**
2013年より実施。

■障がい者雇用

当社では２００８年より「障がい者の職能と適性に応じた職場づくり」に取り組み続け、障がい者スタッフが安心して長く働き続けられる職場環境や仕組みの整備に努めています。店舗では駐車場の巡回や駐輪場の整理及び清掃業務を行っています。





7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

環境対策

■デコ活

当社は、環境省が推進する気候変動対策の国民運動「デコ活」の趣旨に賛同しております。「デコ活宣言」企業として、地域社会とともに脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

デコ活
くらしの中のエコろがけ

■COOL BIZ／WARM BIZ

クールビズ期間中、エアコンの設定温度は２８度を目安とし、社員・アルバイトスタッフともに軽装で勤務しています。ウォームビズ期間中は、加湿器やサーキュレーターによる空気循環などを行い暖房に頼りすぎず、冬を暖かく快適に勤務する工夫を行っています。

COOLBIZ
WARMBIZ



従業員啓発用ポスター(抜粋)

ウォームビズ豆知識　ちょっとした工夫で実現できる“室温20℃”の知恵

部屋の温度を調節するちょっとした工夫		カラダを暖めるちょっとした工夫	
暖かい空気を循環させる	まずは部屋に温度計を!!	ランチは体をあたためる食材を選ぶ	あったかい飲み物でココロもポカポカ
暖房のON/OFFのタイミングを考える	湿度15%UPで体感温度が1℃上昇	デスクでできる血行促進体操	冷えと戦ってきた女性の知恵から学ぶ毛足の長い座布団

■電気使用時間の管理

店舗では、遊技機・店内設備・エアコン・照明の電源を入れる時間、切る時間をマニュアル化しています。時間設定については全店共通ではなく、運営状況に合わせて1店舗ずつ異なる設定で運用することにより、効果的な使用電力削減に努めています。



■太陽光発電

当社の一部店舗では、持続可能なエネルギーの活用に取り組んでいます。店舗駐車場には風力発電機を設置し、屋根には太陽光発電機を導入するなど、再生可能エネルギーの効果的な利用を図っています。これにより、地球温暖化の抑制や環境保護に貢献すると同時に、持続可能な電力供給を実現しています。



株式会社ガイア

〒103-8451
東京都中央区日本橋横山町7番18号